

阿部夫美子 和紙夢現展

伊勢の地で独自の美の世界を創造し続ける和紙人形作家・阿部夫美子さん。今までに作り上げてきた作品から、約40体の和紙人形を展示いたします。和紙人形が放つ、気高さ、優美さ、力強さ。また、日本人としての感性に従って、生み出された色の取り合わせは、まるで夢か幻を見るような神話の美の世界です。さまざまな和紙人形の世界をお楽しみください。

令和5年 3月18日(土) ～ 4月16日(日)

午前10時～午後5時

会場／おかげ横丁 大黒ホール(伊勢路名産味の館2階) 入場無料



お問い合わせ / おかげ横丁総合案内(おみやげや) 電話0596-23-8838
主催 / (株)伊勢福 協力 / 阿部夫美子



阿部夫美子(あべ ふみこ)

伊勢市在住。和紙人形作家。1975年中西京子氏に師事し創作を開始。おかげ横丁神話の館の「倭姫命」制作。その他、「遷御の儀」(皇學館大学神道博物館)、「おかげ参り」(二見賓日館)、「斎王群行」(鳥羽 戸田家)などのジオラマ作品を制作。以降、日本の神々や伊勢ゆかりの歴史文化、伝統儀礼などを題材に創作、発表を重ねる。

～神さまの人形をつくる時は、必ず姿勢を正し、手を洗い清めてから取りかかります。「つくらせて頂く」という感覚で、慎重に丁寧に、納得できるまで何度もやり直します。何より重視するのは「品格」です。品格を表現するためには、顔がまず第一。試行錯誤を重ね、顔だけつくるのに一ヵ月ほどかかります。やり直しを繰り返すうちに「あ、これだ」と腑に落ちる瞬間が訪れるのです。～ 阿部夫美子談

あべふみこ
わしむげんてん